



INVESTOR RELATIONS 2026

## VALUE CREATION STORY

2026年3月期 決算補足説明資料

 **エンターテイメント株式会社**

東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 4650

2026年5月14日(木) 代表取締役社長 高橋 誠

## 構造改革

2022年3月期～

### 第1フェーズ

- ・有利子負債の大幅削減
- ・不採算店舗の整理・事業の選択と集中



2023年3月期～現在(2026年3月期)

### 第2フェーズ

#### 「持続的成長を支える事業基盤の拡大」

- ・就労支援事業のエリア拡大
- ・スターピラティスのブランド展開
- ・プリスクールによるオリジナルサービス向上

### 持続的成長に向けた展開

当期の営業損失は、新規出店立上げ・人材育成等の一過性費用が先行したことが主要因であり、今後は稼働率・会員数・充足率等のKPIで回収進捗を管理。

- 主力のウェルネス事業は売上高が前年同期比+23.6%と順調に拡大し、需要の強さを背景に成長の再現性と持続性を一段と高めています。
- 当期は、将来の収益寄与を見込む就労支援事業（14店舗出店）の多店舗出店の推進、ならびにスターピラティス（2店舗出店）の店舗展開に係る計画的な先行投資に加え、従業員教育に伴う研修費等の一過性費用が先行したことから、営業利益は前年を下回ったものの、営業黒字を維持しました。
- フィットネス事業における収益構造の強化（不採算店舗の整理よ高効率業態への転換）は着実に成果が出ている。

## 各事業の成長ドライバーと具体的取り組み

### STAR★Pilates



#### ピラティススタジオ新規出店

4月OPEN  
札幌大通ル・トロワスタジオ  
7月OPEN  
博多祇園スタジオ



#### プリスクール始動

専属講師による  
・イングリッシュタイム  
・サーキットプログラム

### RVリバイブ



#### 就労支援B型事業所新規出店

4月～9月  
14店舗出店でエリア急拡大  
10月～  
順次立上げが進捗

## サービス品質の向上とブランド価値の確立に向けた投資を実行

## ハイライト | 業績サマリー

当連結会計年度売上高

**5,155**百万円

前年同期

**4,201**百万円

成長領域への投資が奏功し、トップラインが大きく伸長。

当連結会計年度売上高

**71**百万円

前年同期

**98**百万円

成長投資・人材投資（研修費）により費用が先行し減益。

親会社株主に帰属する当期利益

**215**百万円

前年同期

**93**百万円

補助金収入（非経常要因）の寄与はあるものの、収益力は改善傾向。

※記載金額は表示単位未満を切り捨てしておりますので、合計が一致しない場合があります。

# 経営成績の概況

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期		2025年3月期	2026年3月期
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,363	1,795	流動負債	2,003	2,079
現金及び預金	486	1,025	短期借入等	1,401	1,395
売掛金	305	386	その他	602	683
その他	571	383	固定負債	618	810
固定資産	2,843	2,897	長期借入金	467	596
有形固定資産	2,404	2,434	その他	151	214
無形固定資産	102	86	<b>負債合計</b>	<b>2,622</b>	<b>2,890</b>
投資その他の資産	336	376	<b>純資産の部</b>		
繰延資産	0	—	株主資本	1,572	1,788
<b>資産合計</b>	<b>4,207</b>	<b>4,693</b>	(資本金)	100	100
			その他包括利益累計額	11	13
			<b>純資産合計</b>	<b>1,584</b>	<b>1,802</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>4,207</b>	<b>4,693</b>

※成長投資により出店を進め事業基盤を拡大しつつ、手元流動性も積み増し、財務の安定性と投資余力を強化。運営効率の向上とキャッシュ創出力の強化により、財務体質の改善を進行中。

# 経営成績の概況

## 財政状態

### 自己資本比率

24/3期

35.2%

25/3期

37.7%

26/3期

38.4%

純資産の増加を背景に改善基調

利益計上により純資産（自己資本）が増加、自己資本比率も改善。財務健全性の維持・向上に努める。

### 1株当たり純資産

利益計上により利益剰余金が積み上がったことを主因に純資産が増加

24/3期

166.76円

25/3期

177.00円

26/3期

201.31円

# 経営成績の概況

## 連結損益計算書

当期は、ウェルネス事業（保育・介護等）を中心に利用者数・稼働が堅調に推移し、売上高は増収となりました。一方、将来の収益拡大を見据えた先行投資（新規出店立上げに伴う諸費用、採用・研修等の人材育成費等）により販管費が増加し、営業利益は減益となりました。

経常利益も減益となったものの、助成金等の活用に伴う補助金収入を特別利益として計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益となりました。

（単位：千円）

	2025年3月期		2026年3月期			
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上高	4,201,829	100.0%	5,155,104	100.0%	+953,275	+22.7%
売上総利益	3,913,064	93.1%	4,688,954	91.0%	+775,889	+19.8%
販管費	3,814,953	90.8%	4,617,022	89.6%	+802,068	+21.0%
営業利益	98,111	2.3%	71,932	1.4%	△26,179	△26.7%
営業外収益	2,964	0.1%	10,973	0.2%	+8,008	+270.1%
営業外費用	40,639	1.0%	38,974	0.8%	△1,461	△3.6%
経常利益	60,939	1.4%	43,930	0.9%	△16,708	△27.6%
特別利益	153,648	3.7%	308,259	6.0%	+154,610	+100.6%
特別損失	43,813	1.0%	22,720	0.4%	△21,093	△48.1%
税引前当期利益	170,474	4.1%	329,469	6.4%	+158,995	+93.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	93,821	2.2%	215,780	4.2%	+121,959	+130.0%

# 経営成績の概況

## 損益ハイライト

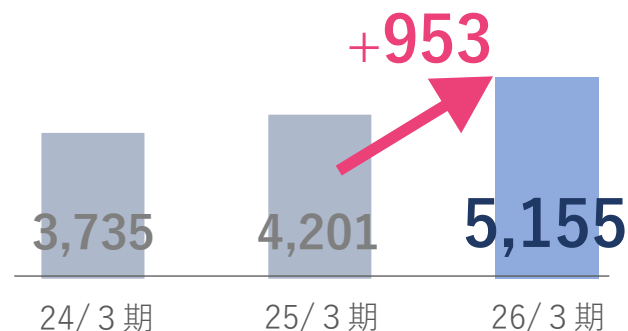
### 売上高推移

直近3ヶ年※単位：百万円

#### 【主な要因】

### 保育・就労支援の伸長を主因に増収

就労支援は多店舗出店と利用者数・稼働率の堅調推移、保育はサービス品質向上による園児充足率の高水準維持により、売上拡大に寄与。



### 営業利益推移

直近3ヶ年※単位：百万円

#### 【主な要因】

### 持続的成長に向けた先行投資による減益

新規出店立上げに伴う恒常費用に加えて一過性費用が先行。また、事業基盤強化に向けたIT・DX研修（業務標準化・データ活用・情報セキュリティ等）を段階的に実施したことにより、教育関連費用が一時的に増加



# 経営成績の概況

## 損益ハイライト

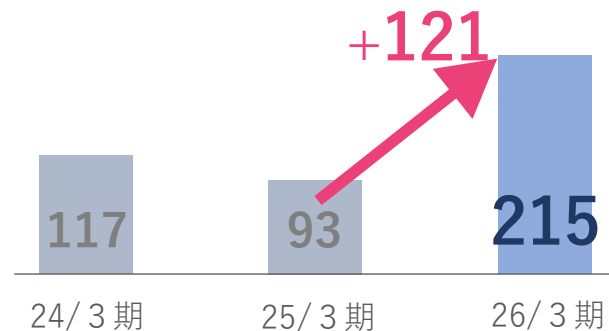
### 当期利益推移

直近3ヶ年※単位：百万円

#### 【主な要因】

#### 特別利益の計上

当期は人材開発支援助成金の支給額確定に伴い、補助金収入(非経常項目)として284百万円を計上。当該収入は毎期の経常収益として見込むものではなく、当社としては本業の収益力向上と投資回収の進捗に注力する。



### 1株当たり当期純利益

直近3ヶ年



※潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

# セグメント別の概況

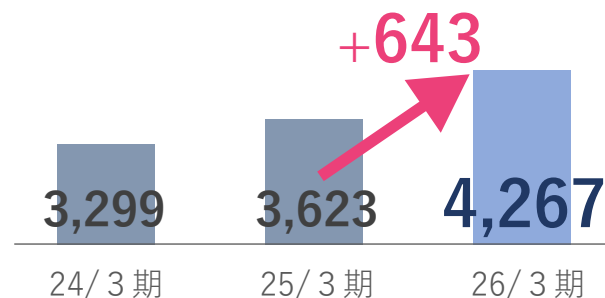
## ウェルネス事業

ピラティススタジオ・就労支援B型事業の新規出店店舗の寄与に加え、保育の高い園児充足率を維持し

売上高は、前年同期 **17.8%増**

## 売上高推移

直近3ヶ年※単位：百万円



### フィットネス



スターピラティスを  
主軸に集客施策実施

### 保育



イングリッシュタイム  
導入で園児確保、  
充足率が安定

### 就労支援



前期開所の事業所で  
順調に利用者が増加

# セグメント別の概況

ウェルネス事業

フィットネス

売上高は、前年同期比0.6%減  
ただし、閉店店舗除く比較では **3.1%増**

## 構造転換による収益性の改善

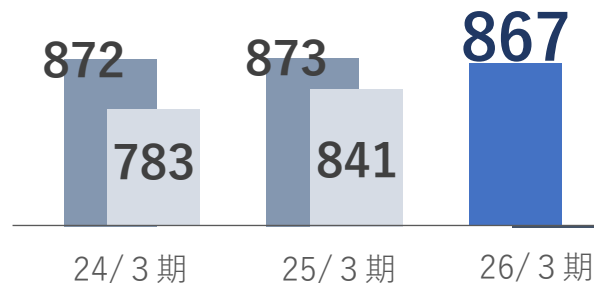
不採算店舗の整理を進めつつ、  
高効率業態(ピラティス)への転換を推進

効率的な販促と経費最適化により、  
収益構造の改善を継続



## 売上高推移

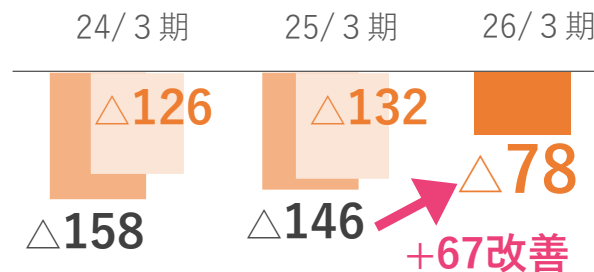
直近3ヶ年※単位：百万円



※ 前面は既存店のみ推移  
(26.3.31時点で閉店している店舗は除いてます。)

## 営業利益推移

直近3ヶ年※単位：百万円



※ 前面は既存店のみ推移  
(26.3.31時点で閉店している店舗は除いてます。)

# セグメント別の概況

## ウェルネス事業

## フィットネス

当期は、新規出店および既存店のリニューアルを通じてピラティススタジオの展開を拡大しました。  
これにより顧客接点の拡充とサービス価値の向上を図った結果、在籍会員数は前年同期を上回りました。



札幌大通ル・トロワスタジオ

博多祇園スタジオ



津藤方店

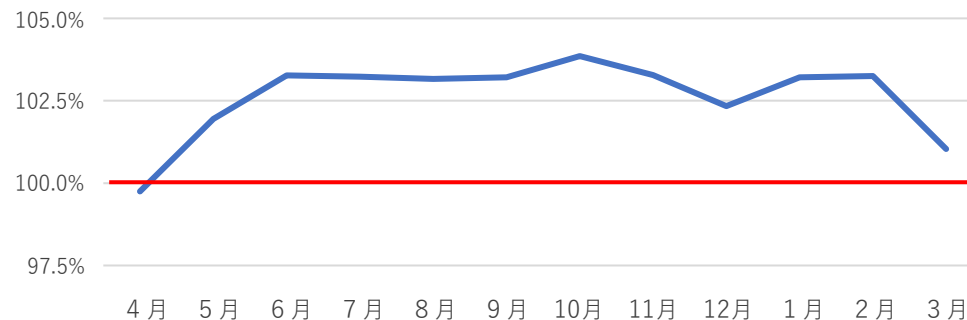
富士伝法店

## 在籍会員前年比較

26年3月末在籍会員数 **100.6%**

26年3月末  
スターピラティス会員数 **138.2%**

〈在籍会員数の前年比増減推移〉



※ 既存店のみの会員推移となります。

# セグメント別の概況

## ウェルネス事業

## 保育

売上高は、プリスクール始動により付加価値サービス「イングリッシュタイム」等を強化し、園児確保につながったことで、高い園児充足率を維持し

売上高は、前年同期 **10.1%増**

### イングリッシュタイム

#### ミュージック&ムーブメント



Phonicsを用いて発音を学びます。様々なトピックに沿った音楽に合わせて、自由に体を動かしたり、歌を歌ったり、ゲームをして楽しみます。

#### ワークタイム



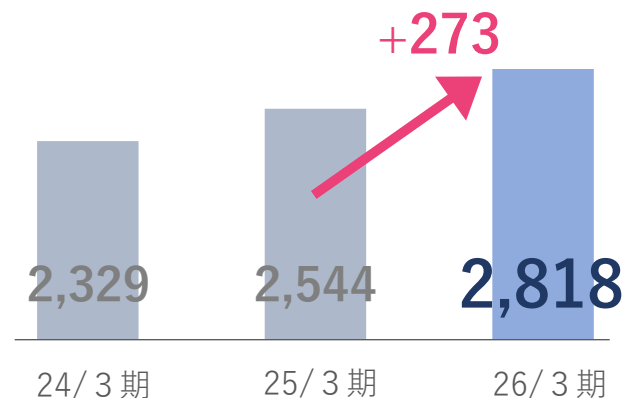
英語講師と一緒に、英語で塗り絵やパズル、粘土などを楽しみます。数字や色、形など多岐に渡るトピックを通して知識やより柔軟な思考力を養います。

## 売上高推移

直近3ヶ年※単位：百万円

26年3月末園児充足率

**98.2%** ※ 企業主導型保育事業平均 80.4%



※ 企業主導型保育事業平均について

- ・ 2026年1月初日現在の企業主導型保育施設一覧(定員充足状況)及び定員充足情報速報
- ・ 1/初日時点(1月の月次報告(3月末確定)が承認されている施設であり、すべての施設を網羅したものではない。)

# セグメント別の概況

## ウェルネス事業

## 就労支援

拠点の拡大に加え、既存拠点の利用者数・稼働率が堅調に推移

売上高は **462.4%増**

eスポーツを活用した人材育成を通じ、デジタルスキルと就労基礎力を同時に高めることで、社会的ニーズの高い人材創出を実現する成長事業

### サービス(カリキュラム)

#### eスポーツwith

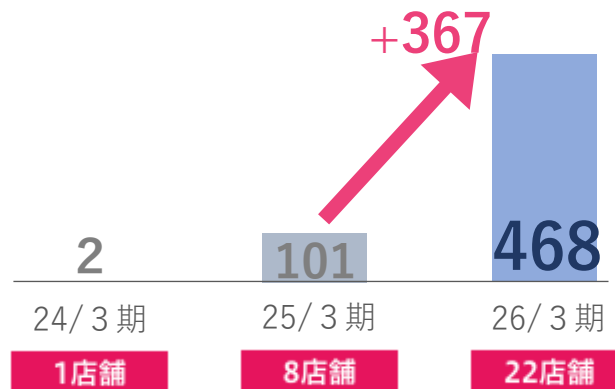
スポーツを通じて就労基礎力と自己効力感を高め、多様な就労選択肢につなげる育成プログラム。

#### クリエイティブライフ

動画編集を中心としたデジタルスキルを基礎から育成し、一般就労につながる人材創出を目指すプログラム。

## 売上高推移

直近3ヶ年※単位：百万円



# セグメント別の概況

## クリエイション事業 オンラインクレーンゲーム

海外向けサービスを2025年8月に本格スタートし  
売上は回復の兆し

売上高は前年同期 **1.5%減**

### 海外展開を軸とした次の成長ステージへ

国内市場の停滞を受け海外展開を開始し、ユーザー数増加と回復兆候を確認。今後は海外市場での収益拡大を成長ドライバーとして強化。



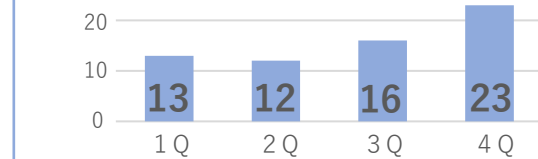
※今後は海外市場でのユーザー獲得に加え、継続率・課金率等の改善を通じた収益拡大を図る。

### 売上高推移

直近3ヶ年※単位：百万円



#### 四半期推移 (単位：百万円)



### 営業利益推移

直近3ヶ年※単位：百万円



## CSR活動

※保育事業における安全対策・社会課題解決の取り組み事例

### 山梨市へ保育園・幼稚園向け 「園児置き去り防止カメラ カメラくん」を寄附しました。

園児の置き去り事故防止に向け、企業版ふるさと納税で安全対策を支援

SDエンターテイメント株式会社(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:高橋 誠、東証スタンダード4650)の連結子会社であるエムシーツー株式会社(本社:東京都新宿区)は、企業版ふるさと納税制度を活用し、2025年12月15日(月)に山梨市(市長:高木 晴雄)に「園児置き去り防止カメラ カメラくん」を寄附しました。



### ●寄付の背景

近年、保育現場では園児置き去り事案が継続的に報告されています。東京都が都内の認可・認証保育所を対象に行った調査では、報告件数は2017年度14件、2018年度18件、2019年度34件、2020年度28件と推移し、4年間で計94件に上りました(朝日新聞2022年2月13日付)。なお、置き去り事案には法的な報告義務がないため、実際にはさらに多くのケースが発生している可能性が指摘されています。保育士の業務負担増や人手不足も重なり、保育の安全対策強化は自治体・保育施設に共通する喫緊の課題となっています。

### ●「園児置き去り防止カメラ カメラくん」について

#### 園内

監視カメラとして  
使用可能



壁設置用カメラスタンド  
で手軽に設置。

#### お散歩

ポディカメラとして  
使用可能



専用ベルトで両手を空け  
て安全に撮影。

#### 公園

視野を約360度カバー  
最大48時間撮影可能  
スマホで映像再生可能



三脚兼用の自撮り棒を用  
いて設置。

### 〈現場を変える4つのバリュー〉

- 1) 前後2カメラで「園外活動の死角」をゼロへ  
※前後180°を同時撮影できる2レンズ
- 2) ICタグ+スマホ通知で園児が離れた瞬間を自動検知
- 3) 通信不要でどこでも録画/Wi-Fi経由で遠隔モニタリング  
※microSD最大48時間保存、4~5時間連続稼働
- 4) 教育・保護者対応にも使える多用途カメラ

## 2027年度3月期計画の概要

2027年度3月期 連結業績：収益性の大幅な改善による本格的な成長軌道へ



### 目標達成に向けた重点施策：成長領域への投資と運営効率の向上



#### 柱1 - 事業拡大

##### 就労支援事業の多店舗展開

就労支援B型事業所「リバイブ」の積極的な出店を推進。社会課題の解決に貢献しつつ、事業拡大によるスケールメリットを創出し、ウェルネス事業全体のトップラインを力強く牽引。



#### 柱2 - サービス品質と収益性の向上

##### 付加価値の提供と全社的な効率化

保育事業において「イングリッシュタイム」等の独自プログラムを導入し、提供価値を強化。高水準の園児充足率を維持しながら、全社的な運営効率の見直しにより利益率 **(+386.6%の営業増益)** を創出。



#### 柱3 - 持続的成長基盤の構築

##### 人材投資と新規事業開拓

採用・研修等の人材育成に対する教育投資を継続し、サービスの質を根底から支える組織力を強化。同時に、将来の事業ポートフォリオ拡充に向けた新規事業の検討を推進。

徹底したコストコントロールと並行し、次期成長領域へ戦略的かつ継続的なリソース投下を実行。

## 免責事項

---

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

---

**SD** エンターテインメント株式会社